



東丘小だより

令和3年(2021年) 11月5日発行 第16号

校長 大森 恵子



学 年	1	2	3	4	5	6	計
児童数(11/5現在)	111	128	84	104	83	102	612

5月27日(木)に、6年生が「全国学力・学習状況調査」「すくすくテスト(ウオッチ)」を、5年生が「すくすくテスト(ウオッチ)」を実施しました。本校では、問題ごとの正答率の傾向や質問紙調査から見られる子どもの実態について分析を行い、学校として、今後どのような学校づくりや授業づくりを進めていく必要があるのかを検討し、課題の共有を行っています。本校の結果の概要についてお知らせします。この調査結果は、学力や学習状況の一部分であり、子どもたちの学力や学習状況、学校教育活動などすべてを表すものではありません。

今後も地域や家庭と一体となって、東丘小学校の教育活動をよりよいものにするためのめあての一つとしてしていきたいです。

「全国学力・学習状況調査」(6年生)

昨年度、コロナ禍のため中止となりましたが、今年度は、例年より約一か月遅れての実施となりました。

調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

今年度の内容 国語・算数・児童質問紙(アンケート)

令和3年度(2021年度)「全国学力・学習状況調査」(6年生)

東丘小学校の結果概要(全体の傾向)

- 国語・算数ともに正答数の分布は多い側に集中し、正答率については、どの領域についても全国平均正答を上回った値を示しています。知識や技能を活用し、問題解決のために取り組む内容についても、おおむね理解し定着が進んでいます。
- 記述式問題での無回答率についても2教科ともに全国と比べて低い数値を示しており、学習について粘り強く取り組む姿勢が伺えます。



「全国学力・学習状況調査」 国語の状況

○「文章全体の構成を考え、内容の中心となる事柄を把握する」や「目的に応じ話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える」「資料を用いた目的を理解する」等、「話すこと聞くこと」についての設問は、特に正答率が良好です。

▽「漢字を文の中で正しく使う」「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く」等言葉の特徴や使い方に関する事項や読むことについての設問が弱い傾向があります。

「全国学力・学習状況調査」算数の状況

○「グラフから項目間の関係を読み取ることができる」等、「データの活用」についての設問は、特に正答率が良好です。

▽「複数の図形を組み合わせた平行四辺形について図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できる」等図形領域の設問が弱い傾向があります。

「全国学力・学習状況調査」児童質問紙から(全国平均の回答に対して本校の児童の回答について)

生活に関する質問

- 「朝食を毎日食べていますか」について「食べている」とした児童の割合が高い。
- 「自分にはよいところがあると思う」「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦する」「自分の思っていることや感じていることをきちんとことばで表すことができる」「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」「友だちと協力するのは楽しいと思う」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」に「当てはまる」とする児童の割合が高い。
- ▽「将来の夢や目標を持っていますか」に「当てはまる」とした児童の割合が低い。

学習に関する質問

- 「家で自分で計画を立てて勉強している」に「よくしている」とする児童の割合が高い。
- 「学校の授業以外に普段、一日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、マンガや雑誌はのぞく)」に、「30分以上」とした児童の割合が高い。
- 「新聞を読んでいますか。」に「ほぼ毎日読んでいる」児童の割合が高い。
- 「5年生までの授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか」に「使用した割合」が高い。
- 「5年生までの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」「授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している」「算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか」「5年生までの授業では、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行ってきましたか」「算数の問題で解き方がわからない時は、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」に「当てはまる」とした児童の割合が高い。

裏面もご覧ください

「すくすくテスト（ウォッチ）」

大阪府独自の学力や学習状況の調査 今年度から実施
子どもたちに、各教科の学力に加え、ことばの力や文章や情報を読み取り
考える力、様々な情報を活用する力、そして、「見えない学力」と言われるねばり強
さや好奇心などを育む、大阪府としての取組み

内容

5年生：国語・算数・理科・わくわく問題（教科横断的な問題）・児童アンケート

6年生：わくわく問題（教科横断的な問題）・児童アンケート

◇教科の問題（国語・算数・理科）（5年生）

・4年生までにそれぞれの教科で学習した内容の問題です。

◇「わくわく問題（教科横断的な問題）」（5年生・6年生）

・文章や絵、図、表、グラフ、ホームページなどを読んで、自分の考えを書くなどの
問題です。答えは記号を選んだり、文章を書いたり、図をぬったり、絵をかいたり
します。答えが1つでないものもあります。

※5年生・6年生の児童の皆さんには、結果個人票である「ウォッチシート」を配付
しています（9月15日）。テストとアンケートの結果について、アドバイスが書
いてあります。お子さんと一緒にじっくりと見直して、ぜひこれからの目標を一緒
に考えてみてください。



令和3年度（2021年度）「すくすくテスト（ウォッチ）」

東丘小学校の結果の概要（全体の傾向）

○5年生（国語・算数・理科）3教科とも正答数の分布は多い側に集中しています。
正答率については、3教科とも大阪府平均を上回った値を示しており良好といえま
す。

○5・6年生（わくわく問題）

5年生・6年生ともに分類別集計結果において、「資料の情報を整理して伝える」
「自身で考えたことを伝える」「理由や根拠を明確にして伝える」という区分の正答
率について、良好な数値を示しています。「伝える」という分類で児童たちの積極
的な姿勢が伺えます。



○「すくすくテスト（ウォッチ）」児童アンケートの結果から

児童アンケートにおいて、大阪府を基準として、強みや課題のみられる質問です。

★「強み」のみられる質問

- ・学級会では、自分たちで意見を出し合って、ものごとを決めている
- ・自分の考えをノート等にも書いている
- ・先生や友だちが話していることで、大事だと思ったことをノート等にも書いている
- ・課題や問題に取り組んでいる途中で、自分のやり方がうまくいっているか考えながら学習している
- ・自分の気持ちだけでなく、場面を考えて行動している
- ・学級会では意見を言いやすい
- ・話し合う場面で考えを深めたり、広げたりしている



★「課題」のみられる質問

- ・終わるまでに何か月もかかる計画に、最後までずっと興味を持ち続けるのは難しい
- ・新しいアイデアや計画を思いつくと、前のアイデアや計画から関心がなくなる
- ・「将来の夢や目標を持っている」という質問に「あてはまる」と回答した児童の割合が低い
- ・自分の気持ちを態度や表情に出さない
- ・「人と対立しても、相手の考えや気持ちを理解しようと努力する」という質問に「あてはま
る」と回答した児童の割合が低い
- ・物事に対して夢中になっても、しばらくするとすぐに飽きてしまう
- ・「授業で学んだことを、ふだんの生活にいかすようにしている」という質問に「あてはまる」と回答し
た児童の割合が低い

「全国学力・学習状況調査」（6年生）「すくすくテスト（ウォッチ）」（まとめ）

本校では、授業づくりについての研究テーマを「学び合う力の育成」とし、「子ども
が主体的に学び、つながる授業づくり～」をサブテーマに教育活動に取り組んでおり
ます。今年度は特に、子ども達が自分の学びや気持ちを伝え合う中でつながりを広
げ、よりよい学習ができることを目指して取り組みを進めています。

そのような中で、「意見が言いやすい」「違う意見も認め合える」というアンケート
項目に対する肯定的回答の割合が高かったことは、「主体的に学ぶ」「思いや考えを
つなげる」学校づくりに向けて子ども達が自ら努力してくれているからこそその結果だ
と考えています。一方で「将来の夢や目標を持っている」等、いくつかの項目につい
ては、今後、具体的な取り組みを見直していく必要があります。

これからも本校の教育目標である「夢を持ち、心豊かに、ともに未来を切り拓く」を
めざし、「笑顔あふれる学校～子ども一人ひとりに居場所のある学校～」に向けた集
団づくりにさらに注力し、授業改善にも取り組んで参ります。教職員一同、子ども達
とともに成長できるように努めていきます。保護者の皆さまのより一層のご理解とご
支援をよろしくお願いいたします。